

Foto: Lola García Garrido



XOEL LÓPEZ

LOS AUTONAUTAS

¡VAMOS A CANTAR!

¡NOS VAMOS DE FESTIVAL!

DISCO GRANDE



Instituto
Cervantes

後援：セルバンテス文化センター東京

¡Vamos a cantar!

スペインポップ会では、ほぼ 99 パーセント、スペインのバンドの曲をかけてますがその多くはもちろんスペイン語で歌ってます。かけてる私たちとしては、もしみんなが歌いながら踊ってくれたらなんていう夢が……。そこで緊急企画!

「スペイン語で歌おう！」

スペイン語がわかる人はその勉強の手助けに、全くわからない人はとりあえずカタカナを覚えて歌ってみてください。

歌詞はサビ以外は要約の訳、サビのみスペイン語、カタカナ読み、その訳を載せました。実際にイベントで、これらの曲をかけますよ。また今後もちょくちょくかけるかもしれないので是非覚えてくださ〜い!!

La Casa Azul “Superguay”

きらきらしたアレンジが印象的な La Casa Azul。一聴すると幸せ感満載なんだけれども、よく聴くと失恋ソングが多い! 失恋しすぎて、開き直るとこんな幸せポップになるのかと思うくらい。さて、私のコンビ盤(TAPAS POP)にも収録させていただいた “Superguay”。これも失恋ソングで、しかもかなり恨み節になってます。

付き合っていた女の子が、超イケてる男の子に夢中になってしまった時、別れを告げたのは彼のほうでした。彼女は、その男の子と付き合いはじめ、みんなに彼と一緒にいるところをみせびらかしたくて流行りのクラブに通っている模様。でもこの歌詞の主人公はもう、そんなことどうでもよくなります。それはかつての彼が……

tan diferente, tan natural

タン ディフェンテ タン ナトゥラル

あんまりにもみんなと違って、でもすごく自然で

tan divertido y especial

タン ディベルティード タン エスペシアル

あんまりにもおもしろくて、ほんとに素敵で

tan adorable, tan perspicaz.

タン アドラブレ タン ペルスピカス

あんまりにも愛らしくて、ほんとに機転もきいて

Tan ocurrente, tan singular,

タン オクレンテ タン シングラル

あんまりにも頭の回転がよくて、すごく非凡で

tan él, tan seguro, tan casual,

タン エル タン セグーロ タン カスアル

あんまりにも彼すぎて、しかも自信あって、さりげない

tan sorprendente, tan superguay,

タン ソルプレンデンテ タン スーベルグアイ

あんまりにも驚くところいっぱい、ほんとに超絶イケてる

tan guay que a su lado resultas francamente

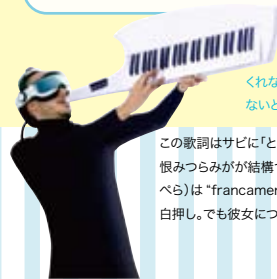
タン グアイ ケスラド レスルタス フランカメンテ

あんまりにも彼がイケすぎて、はっきりいって君は……

insustancial.

インスタンシアル

中身のないうすっぱに見えるよ



今日の彼女はさえないみたい。主人公は思います。昔はディスコパーティの女王様みたいだったのに。彼にとって彼女は自分の不安や不満をぶつけるだけの存在で、話も聞かないし見てもくれない! なんと侮辱! もう彼女の存在は、日本製のマイクロチップみたいに小さくて、顕微鏡がないと見えにくい! もう彼は太陽みたいに大きいのに、彼女はほんとにちっぽけ!!

この歌詞はサビに「とても」の意味の “tan” が繰り返して使われてリズム的に楽しい! でもここ、実際は、彼女への恨みつらみが結構つまってると思われるので、ちょっと皮肉っぽく歌ってみましょう。最後の “insustancial”(うすっぱ)は “francamente”(はっきりいって)の後ためてためて、感情をこめて! サビの部分は、彼を誉める単語が目押し。でも彼女についての部分になると、日本製マイクロチップまで引き合いに小さいものの例えがいっぱいです。

Airbag “Ahí viene la decepción”

次は、スペインバンクの星(スペインバンク四天王ともいうらしい)Air Bagの“Aquí viene la decepción”。スカットしたバンクが持ち味の彼らですが、『女の子が厚着するから冬は嫌い』とか、おもしろい歌詞が結構多いバンドです。

あるクラブの入り口にいた主人公は、みんなが振り返るようなきれいな女の子がクラブに入っていくのを見かけます。バンクバンド(The Clash)のTシャツを着ている彼女、彼にとってほんとにパーフェクトな女の子に見えます。みんなの真ん中で踊っている彼女、でも(The JAM)の曲がかかった時に!

y fue cuando me di cuenta ...

イ フェ クアンド メ ディ クエンタ

この時気がついたんだ

de que no eras la chica que yo imaginé que eras.

デ ケノ エラス ラチカ ケ ヨ イマヒネ ケ エラス

君が僕の思ったような子じゃないって



線過去と点過去の勉強になりそうな歌詞ですね。ちなみに英語のバンド名に付く“The”はスペイン語では“Los”になっちゃいますので、“Los Clash”、“Los JAM”です。ロスがつかつとマリアッチをやっちゃいそうですね。ローリングストーンズにいたっては“Los Rollin”というらしいですよ。日本で唯一時期、ラモーンズTシャツやバッグの女の子が街に溢れたんで“バンクブーム?”って思ってたらヒステリックグラマーのものでした。その時のことを思い出す歌です。



“Ahí viene la decepción”はアルバム“Alto Disco”に収録されています。聴いてみたいと思ったら、とりあえずググってみましょう!

彼女は《The JAM》がかかっているのに、この曲は何? と彼に聞いてきました。どうも来るクラブを間違えたよう。彼女は出て行ってしまい2度と戻ってきませんでした。彼女はバンクのことなんか何も知らず、彼女が着ていた《The Clash》のTシャツはH&Mの今シーズンのもの……ってことだったんです。

Deluxe “Que no”

最後は今号の表紙を飾ったガリシア出身アーティスト(Xoel López)の前身バンド、Deluxeの“Que No”。2003年発表のこの曲は、彼の人気の始まりの曲でもあります。スペインで夏フェスに行った時、夜中の3時くらいにも関わらず、周りのスペイン人が「ケノケノケノケノ」っ合唱しながら飛び跳ねたのが印象的でした。私はもう眠くてぐったりでしたが……。

そうすべきじゃないことは分かっているけど、僕が踵歩するって思ってる君に笑えてくるラジオから僕の声が人々に対してNOって言うのを聞くより痛みがすぎるのをじっと待っているほうがいいことは分かっている



No intentes hacerme cambiar,

ノーインテンテス アセールメ カンピアール

でも僕を変えようなんて思わないでほしい

no me pidas ese favor,

ノメ ピダス エセ ファボール

そんな願いをしてこないで

siento decirte

シエント デシールテ

悪いけど

que no, que no, que no, que no ...

ケノ ケノ ケノ ケノ

que no, que no, que no, que no ...

ケノ ケノ ケノ ケノ

que no, que no, que no ...

ケノ ケノ ケノ ケノ

NOって、NOって、NOって言ってごめん



“If Things Were To Go Wrong”は2003年に日本のレーベル《アートユニオン》から日本語もリリースされました。

適切なタイミングじゃないってわかってるけど、考えるのをやめるわけにはいかない変に思うかもしれない、そんなに続かないって、でも最後に負けるのは君だ

これはサビがケノケノしかないのでも歌いやすい!なのでこの曲は「ケノケノ」いいながらジャンプするのをお勧めします。スペイン語的には否定の命令文の練習になりそうです。

XOEL LÓPEZ

www.xoel.com

Xoel様(私はなぜか彼をこう呼んでしまう)は、私のココロのNo.1ミュージシャン。Deluxe初期時代は英語歌詞、イギリスの音楽を踏襲したスタイルで人気に。その後、全曲スペイン語歌詞で歌うようになり、別プロジェクトの《Lovely Luna》ではフォークな一面も。CDを聴いていると、とても繊細な、少し哀しげなXoel様の声(それはそれでまたステキなのだけれど)、ところがライブでは力強く迫力満点。Deluxeとしての活動休止後、マドリッドからブエノスアイレスへ移り住み、ラテンアメリカ各国を旅するカンタウトール(シンガーソングライター)となったXoel様。"Atlántico"(大西洋)の次はどこへ旅するのだろう。私は"Pacífico"(太平洋)付近で長らく彼を待っているのだけれど。

From Xoel

やあ、日本のみなさん。

とても遠い、そしてとても神秘的なその国。映像や写真で見た印象では、とても美しいその国。僕は常にどんな国なんだろう、と考えていた。だからこそ、いつの日か日本へ行って、これを読んでいる君たちにも会ってみたい。"made in Japan"な歌ができるかもしれない。でも僕が太平洋のそちら側に渡る前に、"Atlántico"(大西洋)を聴いてみてほしい。僕自身がラテンアメリカ各国とアメリカを旅して得た成果。このアルバムを聴いてイメージして欲しい、そして歌詞やメロディを通して旅してもらったら、と思う。

愛を込めて。

Xoel

Hola, amigos de Japón:

Siempre me he preguntado cómo será ese país tan lejano, tan misterioso para mí y por lo que yo sé por videos y fotos, tan hermoso. Por eso espero poder conocer aquello y a algunos de vosotros en persona algún día. Quizás hasta componer alguna canción "made in Japan", por qué no! Pero antes de conocer ese lado del Pacífico espero que disfrutéis de "Atlántico", fruto de mi experiencia viajando por toda América Latina y EEUU. Espero que sea lo suficientemente evocador y sirva también para hacer que viajéis de algún modo a través de sus versos y melodías.

Un beso.

Xoel



Xoel López

ア・コルーニャ出身。

2009年Deluxe名義での活動を休止、スペインからアルゼンチンへ渡り、数々のアメリカ大陸在住アーティストと競演。ソロ名義初となる"Atlántico"を2012年4月17日リリース。



Xoel López "Atlántico"

4月17日発売!

iTunes Music Store Japanでも購入可能

★Xoel様をネットでチェック!★

<https://twitter.com/#!/xoellopez>

www.facebook.com/Xoel.Lopez.Oficial

www.myspace.com/xoellopez

www.myspace.com/felixxoel (Lovely Luna)

¡Nos vamos de festival!

ここ数年、日本でもFUJIROCKやサマソニをはじめとしたロックフェスがごく身近なものになってきました。もちろんスペインにも年間通してたくさんのフェスがありますが、これからがフェスシーズン本番。スペイン旅行の予定がある人は、フェスに参加してみるのもいいかも？



julio 12-13-14-15, Benicàssim
<http://fiberfib.com>

スペイン最大級の夏フェス。国内のインディーズバンドから国外の大物アーティストまで。夕方までビーチでのんびりのリゾート型夏フェス。



julio 12-13-14, Bilbao
www.bilbaoobbklive.com



julio 19-20-21, Albuquerque
www.contempopranea.com

スペイン国内のインディーズバンドがメインのフェス。毎年お題があり、各バンド少なくとも一曲はカバーを演奏。今年は“La Buena Vida”。



agosto 9-10-11-12, Aranda de Duero
www.sonorama-aranda.com

こちらも国内のインディーズ中心で、今後参加してみたいフェスのひとつです。Love of Lesbian、Maga、El Culpismo Asesino、大好きなIglouなど、今年は相当私好みのラインナップ。





LOS AUTONAUTAS

losautonautas.com

www.myspace.com/losautonautas

ファーストアルバムリリースから早5年。新譜が待ち望まれるパワーポップバンド《Los Autonautas》。マドリードにある練習スタジオ《Rock Palace》に遊びに行ってきました！ ドアを開けると……えー?! 《Octubre》のドラマのÁngel?! そして元《Guatafán》のSusoがキーボード担当! ギターをベースに持ち替えたオリジナルメンバーのCésar（ボーカル/ベース）とギターのClaraは健在。ふたりの新メンバー加入で、よりパワフルでよりポップな《Los Autonautas》が誕生しました。

気になるニューアルバムは夏以降になりそう。タイトルは“Lo que quiero”。限定数のみのリリースで、ひよとしたらアナログ盤も出すかも、とのこと。ミックスとマスタリングは、CooperやAmaral、Deluxeなども手がけた、スペインのロック&ポップ界で活躍するJosé M. Rosillo。練習では数曲しか聴けなかっただけに、リリースが待ち遠しい!

From César, Los Autonautas

日本にいる僕らの友だち、
いつもありがとう。
みんなに愛を込めて。
いつの日か
みんなに会えることを願ってます。
ありがとう、
みんなとてもステキな友だちだよ。

Queremos darles las gracias y
mandarles un beso muy fuerte a todos
nuestros amigos japoneses/as.

Deseamos poder estar con vosotros
algún día. Gracias, sois todos muy
bonitos.

Los Autonautas



5年経っても聴き続けてます!
ファーストアルバム“Los Autonautas”。

連載第 2 回目は私たちが紹介するまでもない
スペイン国営 Radio 3 の長寿番組《Disco Grande》!

SPAIN RADIO NO SUSUME
DISCO GRANDE

Metro

ベテランのJulio Ruizがパーソナリティを務めるRadio 3の《Disco Grande》。個人的には、彼の独特の話し方に戸惑い、スペイン語を理解するのに苦労することもしばしば。でもインディーズファンにとってはとても魅力的な番組。最新音楽情報、スタジオでの生ライブ、インタビュー……。平日毎日放送なので、がんばって聴かないとあとという間にPodcastがたまっていきます(笑)。

スペイン人なら誰でも知ってるようなメジャー番組をなぜ今更ここで紹介するかと言うと、最近番組で《¡Nos mola el pop!》がちょろっと話題になったからです! しかも二回も! 両方も友だちのおかげなのだけれど、こうなるとなんだか他人な気がしません。生Julioを拝める日も近いかも?!



月曜日～金曜日16:00～17:00(スペイン現地時間)、
Radio 3 (<http://www.rtve.es/radio/radio3/>)で放送中。
【Podcastはこちらから】
<http://www.rtve.es/podcast/radio-3/disco-grande/>

イベントでのゲーティング

未来

[Miki]

フードデザイナー。ノートPCから煙のほりまで、さまざまなモノをゲーキで表現する。また、*Art MICの一人としてクラブイベントmeesee [ミーシー] (<http://studioeth.net/meesee/>)などでライブペインティングも行う。

Gracias a: Xoel, Cristina(esmerArte), César, Los Autonautas y todos nuestros amigos